

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2008

第6回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン 「ハイマーケットのヘンデル」

オペラ

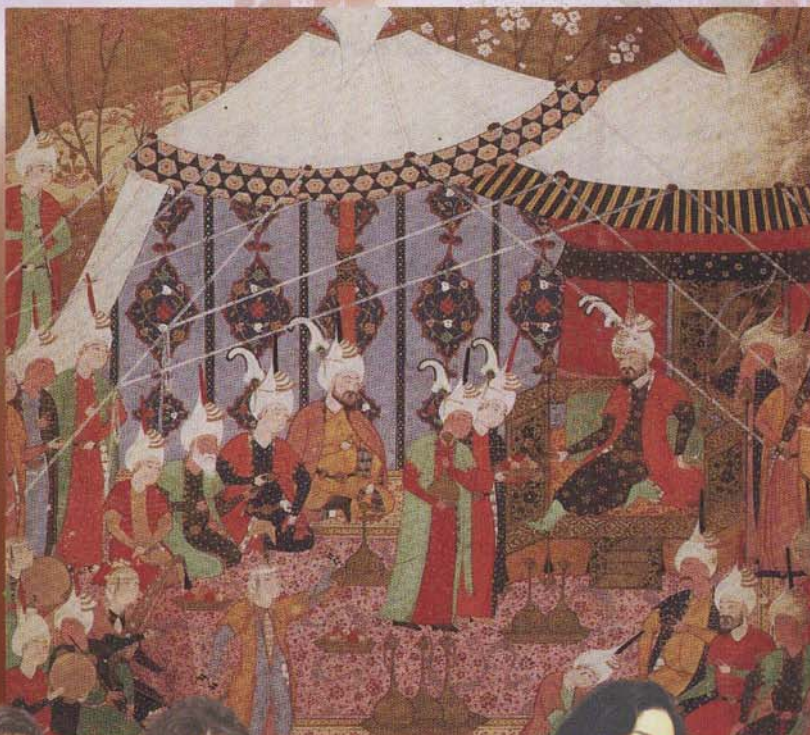
タメルラーノ

HANDEL OPERA TAMERLANDO

HWV 18 1724年初演稿ノーカット 本邦初演 字幕付き

●管弦楽 キヤノンズ・コンサート室内管弦楽団 (HFJ専属古楽合奏団)

タタールの暴君タメルラーノにより窮地に追い込まれたトルコ皇帝バヤゼットは自ら死を選ぶ。その悲劇的な死を頂点に、幕開けから緊迫したドラマが展開するヘンデル・オペラの最高傑作。



山下 牧子
タメルラーノ

辻 裕久
バヤゼット



佐竹 由美
アステリア



渡邊 孝
指揮/チェンバロ



波多野 睦美
アンドローニコ



背戸 裕子
イレネ



牧野 正人
レオーネ

12/6

sat

浜離宮朝日ホール

15:00開演

14:30開場
19:00終演予定

入場料

一般 S 8000円 A 6500円

学生 4000円 (当日のみ)

支援会会員 S 5600円 A 4500円 全席指定

講演会 『ハイマーケットのヘンデル』

講師：三澤寿喜「ハイマーケットのヘンデル」

河村泰子「《タメルラーノ》の音楽とドラマ ―ヘンデルはティムールの物語をどう描いたか―」

11/15

sat

浜離宮朝日ホール、リハーサル室

14:00～16:00

入場料

一般 2500円 (支援会会員1700円)

学生 1200円 全席自由



■お得な2公演通し券 S 9500円 A 8000円

…アレグロミュージックにて取り扱い。前売りのみ。

■学生券 …アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

【チケット取り扱い】

アレグロミュージック 03-5216-7131
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
朝日ホール・チケットセンター(12/6のみ) 03-3267-9990

主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会 制作統括/監修：三澤寿喜
助成：財団法人朝日新聞文化財団 財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

野村国際文化財団

協力：朝日新聞社 久保田チェンバロ工房 池上ルーテル教会
後援：ハレ・ヘンデル協会(ドイツ) ヘンデル・ハウス財団(ドイツ、ハレ)
アメリカ・ヘンデル協会

マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131

問い合わせ：HFJ事務局(三澤) 0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン公式HP <http://www.handel-f-j.org/index.html>

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2008

第6回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン モットー：激情人、劇場人、ヘンデル MOTTO: HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HANDEL FESTIVAL JAPAN (HFJ)

HFJはヘンデル没後250年となる2009年を見据えながら2003年からフェスティバルを開催し、知られざる名作を中心とした意欲的なプログラミングで注目を集めています。

- 03年(第1回)「キャノンズのヘンデル」(マスコ《エイシスとガラテア》他)
- 04年(第2回)「ローマのヘンデル」(オラトリオ《復活》他)
- 05年(第3回)「コヴェントガーデンのヘンデル」(寓意的オラトリオ《ヘラクレスの選択》他)
- 06年(第4回)「ドラマティスト、ヘンデル」(オラトリオ《ヘラクレス》他)
- 07年(第5回)「英国王室とヘンデル」(《水上の音楽》《戴冠式アンセム》他)

<第6回ヘンデル・フェスティバル・ジャパンHFJ2008>

第6回は「ヘイマーケットのヘンデルーイタリア・オペラの最盛期」という主題を設定しました。コヴェントガーデン王立劇場がヘンデルの晩年のオラトリオ上演で多く使用されたのに対して、ヘイマーケット国王劇場は長年ヘンデルのオペラ活動を支えた劇場です。今回は全2企画を通じてヘイマーケットにおけるヘンデルの華やかなオペラ活動を眺めます。

企画1：講演会『ヘイマーケットのヘンデルーイタリア・オペラの最盛期』

11月15日(土) 14:00~16:00

■ 三澤寿喜「ヘイマーケットのヘンデル」

ヘイマーケット国王劇場におけるヘンデルのオペラ活動の全体を眺めます。

■ 河村泰子「《タメルラーノ》の音楽とドラマーヘンデルはティムールの物語をどう描いたか」

器楽伴奏付きレチタティーヴォを中心に《タメルラーノ》における見事な劇作法を解き明かします。

企画2：オペラ《タメルラーノ》(HWV 18)全3幕 本邦初演 12月6日(土) 15:00~19:00

オペラ《タメルラーノ》について.....三澤寿喜

1724年10月31日にヘイマーケット国王劇場で初演された《タメルラーノ》は多くのヘンデル研究者が最高傑作と称賛するオペラです。優れた台本作家ハイムによる緊密なドラマとヘンデルの情感豊かな音楽が一体となり、窮地に追い込まれた人々の深い葛藤が見事に描かれていきます。

あらすじ：タメルラーノ(=ティムール：1333-1405)は14世紀末に西アジアを中心に一大帝国を築いた皇帝です。1402年、トルコを攻略したタメルラーノはトルコ皇帝バヤゼットとその娘アステリアを捕虜とします。タメルラーノは婚約者(イレーネ)がありながら、アステリアに心を移し、バヤゼットの命を引き換えに結婚を迫ります。しかし、アステリアはすでにギリシアの王子アンドロニコと愛し合う間柄でした。タメルラーノを軸として、悲劇の歯車が回転し始め、追い詰められたバヤゼットは自ら誇り高い死を選び、毒杯をあおります。

特徴：ヘンデルは1724年7月に一旦このオペラを完成させていました。しかし、秋のシーズンにあわせて優秀なイタリア人テノール、ボロジニがロンドンに到着し、バヤゼット役を歌うこととなります。ボロジニの優れた才能を即座に見抜いたヘンデルはハイムと協力して、急速、台本と音楽を大幅に書き換え、ドラマの中心をバヤゼットへと移します。こうして、バヤゼットの悲劇的な死を頂点とする、当時としては異例の、極めて悲劇的なオペラが誕生しました。最高の聴き所となる第3幕最後「バヤゼットの死の場面」の緊迫感あふれる劇作法はヘンデル円熟期の傑作オラトリオ《ヘラクレス》における「デージャナイラの狂乱の場」を髣髴させます。

出演者プロフィール

三澤寿喜 Toshiki Misawa (音楽学：制作統括/監修&企画1)

HFJ実行委員長。ヘンデル研究。国立音楽大学大学院修了。主要著書：『ヘンデル』(音楽之友社)。主要編著書：『ヘンデル・アリア選集1(オペラ編)』、『同2(オラトリオ編1)』、『同3(オラトリオ編2)』(共編著：全音楽譜出版社)、『ヘンデル二重唱曲集』(音楽之友社)、『ハレルヤ・コーラス』(全音楽譜出版社)。主要訳書：ホグウッド『ヘンデル』(東京書籍)、バロウズ『商業的富裕と文化の伸張』(ドイツ音楽の興隆)：音楽之友社、他。

河村泰子 Yasuko Kawamura (音楽学：企画1)

HFJ実行委員。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院修士・博士課程修了。論文「ヘンデルの創作活動とアコンパニメント」で2007年に音楽学博士号を取得、2008年出版。大学院在学中、ロータリー財団奨学生として、ドイツ、ハンブルク大学大学院に留学。現在、東京音楽大学付属高等学校講師を務めるほか、音楽事典の執筆、演奏会とCD・DVDの解説・歌詞対訳を手がける。

渡邊 孝 Takashi Watanabe (チェンバロ、オルガン&指揮：企画2)

04年に結成したリクレーアツィオン・ダルクアディア(Ensemble Recreation d'Arcadia)でボンポルティ国際古楽コンクール(イタリア)にて第1位、聴衆賞、ORF(オーストリア国際放送)録音賞を受賞するなどの圧倒的支持を得て、現在ヨーロッパ各地でソリスト、通奏低音奏者として活躍している。アムステルダムにてB.v.アスベレン氏に師事。現在はイタリア在住で、ロレンツォ・ギエルミ氏にオルガンに師事。http://darcadia.blogspot.com/

山下 牧子 Makiko Yamashita (メゾ・ソプラノ：企画2)

広島大学を卒業後、東京藝術大学大学院に学ぶ。2002年、日生劇場オペラ教室《カルメン》タイトルロールでオペラデビュー後、新国立劇場や二期会のオペラ公演に多数出演。二期会公演《ジュリアス・シーザー》タイトルロール好演は記憶に新しい。宗教曲や歌曲にも意欲的に取り組んでおり、さまざまなオーケストラと「第九」、《メサイア》等を共演。二期会会員。

辻 裕久 Hirohisa Tsuji (テノール：企画2)

HFJ実行委員。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。1994年故ダイアナ妃復讐による《メサイア》公演のソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、オペラ、オラトリオ、古楽のソリストとして国内外で活躍。CDに『ベンジャミン・ブリテン歌曲集』I、II、『ヴォーン・ウィリアムズ歌曲集』、『ベリー二歌曲集』、『メサイア』など。公式HP：http://www.soundinternationaljapan.com

佐竹由美 Naomi Satake (ソプラノ：企画2)

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。ロータリー国際観音奨学生としてミラノに留学。第53回日本音楽コンクール第2位、ノバラ国際音楽コンクール第2位、ライプツィヒ第8回パッパ国際コンクール第4位入賞。その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で、宗教作品、オペラや現代作品などで常に高い評価を得ている。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。二期会会員。

波多野 睦美 Mutsumi Hatano (メゾ・ソプラノ：企画2)

宮崎大学教育学部卒業後、ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。イギリスルネサンスのリュートソングで国際的な評価を得る。現在はルネサンスからバロック、近現代まで、歌曲のレパートリーを中心に数多くの演奏会を国内外で行う。英国ケンブリッジ、リンカーン音楽祭、アメリカでの中日韓世界平和祈念コンサート、パンパシフィック音楽祭、武蔵野メモリアルコンサート等に出演。バロックオペラでも深い表現力で注目される。

背戸 裕子 Yuko Seto (メゾ・ソプラノ：企画2)

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程オペラ研究科修了、新国立劇場オペラ研修所第2期生修了。2002年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに留学。《パラの騎士》アンニーナ、《フィガロの結婚》ケルビーノ、《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベツァ、《アルチーナ》プラダマンテ等に出演。『第九』《メサイア》モーツァルト『レクイエム』『戴冠ミサ』等のアルト・ソロを務める。二期会会員。

牧野 正人 Masato Makino (バリトン：企画2)

所属する藤原歌劇団では《楳娘》《アイダ》《ボエーム》などに出演。新国立劇場にも《リゴレット》《ナブッコ》《セビリアの理髪師》など度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。シローオペラ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロッシーニ協会会員。

管弦楽 キヤノンズ・コンサート室内管弦楽団 CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA (HFJ 専属古楽合奏団)

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.6 (HFJ 2008)

THEME: "HANDEL at HAYMARKET THEATRE"

PROJECT I

LECTURE "HANDEL at HAYMARKET THEATRE"

14:00, Saturday 15th November, 2008

Hamarikyu Asahi Hall, Rehearsal Room, Tokyo

Lecturers: Toshiki Misawa & Yasuko Kawamura

Tickets: ¥2500 (Free seating) / Students ¥1200

PROJECT II

TAMERLANO (HWV18) Concert style

15:00, Saturday 6th December, 2008

Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo

Tamerlano: Makiko Yamashita(MS) Bajazet: Hirohisa Tsuji(T)

Astera: Naomi Satake(S) Andronico: Mutsumi Hatano(MS) Irene: Yuko Seto(MS)

Leone: Masato Makino(B) Cemb & Con: Takashi Watanabe

Orchestra: CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA

Tickets: S ¥8000 A ¥6500 Students ¥4000

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費は1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前の記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。法人会員については別途お問い合わせください。お申し込み、お問い合わせはHFJ支援会事務局 jimukyoku@handel-f-j.org



浜離宮朝日ホール

〒104-8011
東京都中央区築地5-3-2
Tel 03-5541-8710

- 都営地下鉄大江戸線・築地市場駅 A2出口、3分。
- 地下鉄日比谷線・東銀座駅6番出口 築地駅1,2番出口から徒歩7-8分。
- 都営浅草線・東銀座駅6番出口から徒歩7-8分、新橋駅から約15分。
- JR新橋駅銀座口から徒歩約15分。
- 新橋駅銀座口から都営バス
- 【市バス】「中央卸売市場行き」または「朝日新聞朝刊」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。

※ 駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用ください。(問い合わせ先: 03-3542-0341)

第7回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HFJ 2009 (没後250年記念フェスティバル)の予定

09年4月14日(火) 19:00(命日記念)《キャロライン王妃のための葬送アンセム》全曲 日本福音ルーテル東京教会

09年4月20日(月) 18:30(埋葬記念)《メサイア》全曲 浜離宮朝日ホール

09年11月21日(土) 14:30 チェスキー・クムロフ(チェコ) 真正バロック・オペラ招聘公演:

ヘンデル・オペラの名アリア&デュエット。豪華衣装・ジェスチャー付き。会場予定:トッパンホール

10年2月13日(土) 15:00 オラトリオ《陽気の人、ふさぎの人、中庸の人》《聖セシリアの日のためのオード》指揮: Ch. ホグウッド。浜離宮朝日ホール